

2026年3月期 第1四半期
決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

2025年7月30日



(東証グロース：7774)

目次

| | | |
|--------------|-----|----|
| 1. 第1四半期決算概況 | --- | 2 |
| 2. トピックス | --- | 12 |
| 3. 参考資料 | --- | 16 |

本決算資料より、ラボサイトのブランドを訴求した事業展開をさらに強化・発展させ、事業内容をより明確に表現するため、報告セグメント名称「研究開発支援事業」を「ラボサイト事業」に変更しています

【用語の説明】

| | |
|-------|--|
| ジェイス | 患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品） |
| ジャスミン | 患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞とメラノサイト(色素細胞)を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品） |
| ジャック | 患者の軟骨組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養軟骨（再生医療等製品） |
| OA | 変形性関節症 |
| ネピック | 患者の角膜輪部組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養角膜上皮（再生医療等製品） |
| オキュラル | 患者の口腔粘膜組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養口腔粘膜上皮（再生医療等製品） |
| ラボサイト | 実験動物を用いた皮膚刺激性試験等の各種試験に代用可能な研究用ヒト培養組織 |
| エピセンサ | ラボサイトを使用して行う皮膚感作性試験法で、経済開発協力機構（OECD）ガイドラインに世界的な標準的試験法として収載 |

1. 第1四半期決算概況

2026年3月期 第1四半期の業績

- ✓ 売上高は、再生医療製品事業の売上減少に伴い、426百万円（前年対比△15百万円）
- ✓ 営業損益は、△244百万円（前年対比△51百万円）

| 単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算) | 2025年3月期 | | 2026年3月期 対前年同期 | | 通期計画 2025.4.30開示 |
|--|---------------|---------------|-------------------|---------------|---------------------|
| | 第1四半期 累計実績 | 第1四半期 累計実績 | 増減額 | 増減率 | |
| 再生医療製品事業 売上高 | 301 | 262 | △39 | △13.0% | 1,770～1,970 |
| 皮膚領域（ジェイス、ジャスミン） | 195 | 162 | △32 | △16.7% | 1130 |
| 軟骨領域（ジャック） | 84 | 78 | △6 | △7.3% | 400～600 |
| 角膜領域（ネピック、オキュラル） | 21 | 21 | 0 | △1.4% | 240 |
| 再生医療受託事業 売上高 | 86 | 100 | 14 | 16.3% | 810 |
| 一般顧客受託（親会社以外からの受託） | 46 | 45 | △1 | △2.9% | 430 |
| 帝人受託 | 39 | 54 | 14 | 37.6% | 380 |
| ラボサイト事業 売上高 | 54 | 63 | 9 | 17.1% | 320 |
| 売上高合計 | 442 | 426 | △15 | △3.6% | 2,900～3,100 |
| 売上総利益 | 247 | 216 | △30 | △12.4% | - |
| 販売費及び一般管理費 | 440 | 460 | 20 | 4.6% | - |
| 営業損益 | △193 | △244 | △51 | - | 100～200 |
| 経常損益 | △192 | △241 | △48 | - | 110～210 |
| 四半期純損益 | △211 | △242 | △31 | - | 100～190 |

成長施策に関する進捗状況

| | | |
|--------------|------|--|
| 再生医療 製品事業 | 皮膚領域 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ ジャスミン 1Qは先行拠点施設における待機患者への治療提供を着実に実施。計画で見込んだ待機患者に治療提供すべく、全国の複数拠点での拡充に着手 ✓ Allo-JaCE03*1 2026/3期中の承認申請を目指し、順調に進捗中 ✓ きずとぎずあとのクリニック®での自家培養表皮移植術の自由診療も受注が順調に推移 |
| | 軟骨領域 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ ジャックOA適応拡大 今期3Qの保険収載を目指し、当局との協議が順調に進捗。有効性・安全性を訴求する医療機関への説明会を実施し、提供体制構築が進捗 |
| | 角膜領域 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ ネピック・オキュラル 当社の支援体制のもとで営業活動の成果として、未受注施設から新たな受注が期待できる状況 |
| | 新規領域 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自家CAR-T細胞*2 急性リンパ性白血病に対する医師主導治験が進捗中 |
| 再生医療受託事業 | | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 経済産業省 再生医療CDMOに関する補助金が採択、施設・設備の拡張や人材育成の仕組み構築を加速 ✓ 既存顧客への役務提供を順調に遂行、見込み顧客との契約交渉も複数進捗中 |
| ラボサイト事業 | | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内外の新規顧客を順調に獲得 ✓ 新規製品である研究用腸管上皮モデルの技術移管を7月から開始 |

*1開発中の同種（他家）培養表皮で、わが国で初となる他人の皮膚組織を原材料とした同種由来製品

*2 名古屋大学・信州大学と特許ライセンス契約を締結した、CD19陽性の急性リンパ性白血病の治療を目的とした、低コストで製造できる自家CAR-T細胞由来治療薬開発

2026年3月期 第1四半期決算のポイント

1Q (4-6月) 実績

- ✓ 前年対比では、ジャスミンが売上貢献も、ジェイス熱傷の適用症例が少なく再生医療製品事業が減収
(一過性であり、直近の受注は回復傾向)
- ✓ 計画比では、ジャスミン、ジェイス、ネピック・オキュラルが遅れあり
→下期にかけ、ジャスミンの拠点施設の拡充による受注増や、ネピック・オキュラルの新規受注候補が見えており、通期業績予想は達成見通し

営業利益推移 (四半期)



営業利益増減 (前年同期比)



再生医療製品事業：皮膚領域（ジェイス・ジャスミン）

自家培養表皮ジェイス

- ✓ 熱傷は適応となる症例が少なく、前年同期比で若干の出遅れも、一過性であり、通期での挽回を見込む
- ✓ 先天性巨大色素性母斑では、前期から取り組んでいる新たな併用療法の成績を慎重に評価し、普及に向けた施策を推進

メラノサイト含有自家培養表皮ジャスミン

- ✓ 2024年10月の保険収載後、先行拠点施設での待機患者の治療提供は着実に進んでいるものの、治療キャパシティの制約等により、計画遅れ
- ✓ 全国的な拠点展開に着手しており、見込んだ症例獲得に向け挽回を図る

自由診療展開

- ✓ きずときずあとのクリニック®と連携し、自由診療でのリストカット痕の治療に用いる培養表皮の提供は順調に症例獲得が継続

(百万円)

皮膚領域 売上高の推移



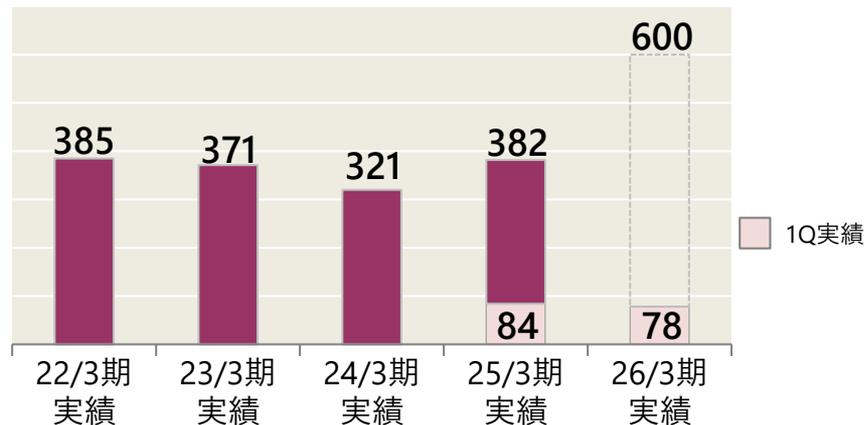
再生医療製品事業：軟骨領域（ジャック）

- ✓ 2025年5月13日に適応症に変形性膝関節症を追加する一部変更承認を取得、今期3Qの保険収載を目指して当局との協議が順調に進捗
- ✓ OA適応拡大保険収載後の速やかな提供を可能とするため、治験における有効性・安全性の詳細に関して医療機関への説明会を開始
- ✓ 1Q実績は、大口施設が安定した需要が継続の一方、年1例程度使用する医療機関での注文数減少。長期的な臨床成績を含む学術的なエビデンスの強化（研究会の提案、拠点施設での手術見学等の取り組み等）を推進中
- ✓ 下期に向けた売上回復と市場拡大に向けた基盤が着実に整いつつある



(百万円)

軟骨領域 売上高の推移



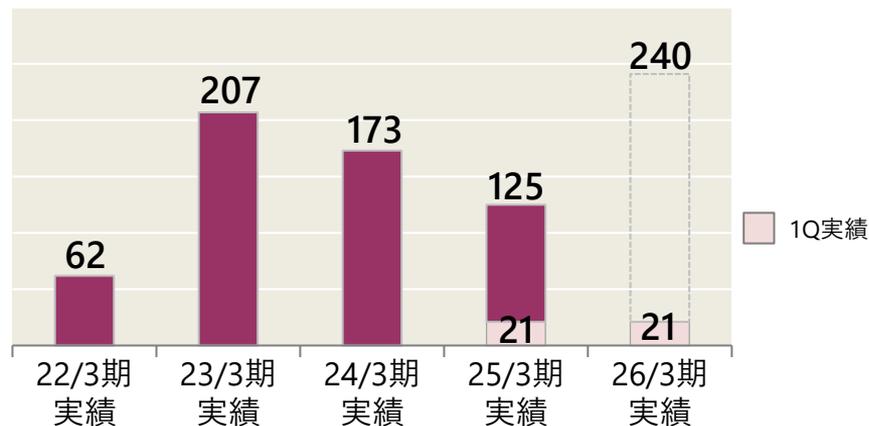
再生医療製品事業：角膜領域（ネピック・オキュラル）

- ✓ 待機症例への適用一巡により売上は一時的に伸び悩んでいるものの、販売委託先である(株)ニデックとのパートナーシップの拡充により、成果が見え始めている
- ✓ (株)ニデックとの連携を軸に、既存施設においては情報提供の強化や術後フォローの徹底など、受注獲得に向けた取り組みを進めており、未受注施設に対しても当社の支援体制のもとで営業活動を実施し、製品価値の訴求活動を展開
- ✓ 結果、未受注の拠点施設から新たな注文が入り始めており、今後の受注拡大に向けた基盤構築が着実に進捗



(百万円)

角膜領域 売上高の推移



再生医療受託事業

一般顧客からの受託

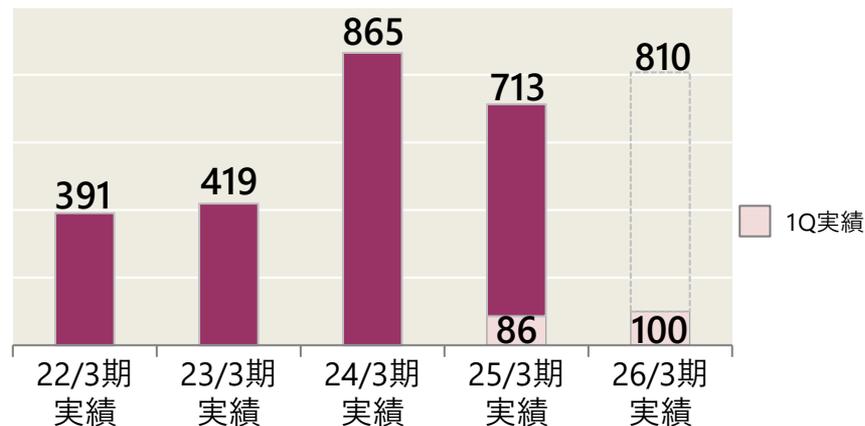
- ✓ 委託元のアクチュアライズ(株)では、再生医療等製品としての国内第Ⅱ相臨床試験について、予定していた被験者への移植手術が全て完了
- ✓ (株)VC Cell TherapyとiPS細胞による再生医療製品の実用化に向けた資本業務を提携し、開発支援を継続
- ✓ (株)メトセラが開発する機能的単心室症を対象とする再生医療製品の治験製品製造に関して、同社と連携しつつ計画通り製造実施
- ✓ iPS細胞や循環器領域といった新たな領域へ拡張させるとともに、営業手法をプル型に変化させ、ブラッシュアップしながら、委託元との関係を通じた製品価値向上と補助金を活用した新しいCDMO事業の仕組みづくりに注力

帝人関連

- ✓ 帝人との協業が進展しており増収
- ✓ 当社・帝人リジエネット株式会社共同で再生医療CDMOに関する補助金が採択、施設・設備の拡張や人材育成の仕組み構築を加速

(百万円)

再生医療受託事業 売上高の推移

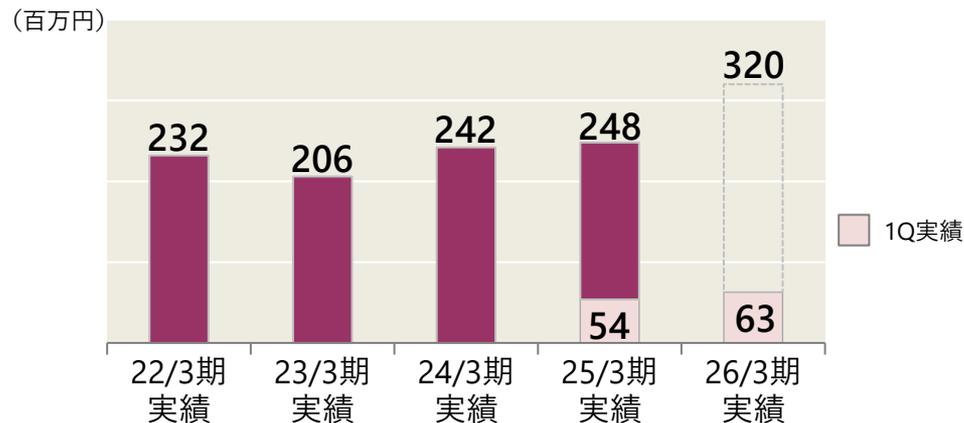


ラボサイト事業

- ✓ エピセンサ技術講習会が毎月満席となるほど国内顧客の関心が高く、講習後のフォローアップを通じて新規受注を獲得
- ✓ 自社で試験ができない国内顧客向けに、帝人構造解析センターを外部試験受託機関としたエピセンサ受託サービスの拡販も順調に進捗
- ✓ 欧米においては、複数CROがエピセンサ受託サービスを開始し、売上に寄与
- ✓ インドにおいては、代理店契約をしたシベン・バイオテック社が積極的な営業を展開、エピ・モデルに加え、角膜モデルの需要も有
- ✓ 2025年3月に開発権を取得したヒトiPS細胞とオルガノイドの技術を用いた研究用腸管上皮モデルは開発元である大阪大学からの技術移管を7月から開始。2027年3月期1Qの上市を目標に創薬市場・海外展開による成長を目指す



ラボサイト事業 売上高の推移



開発パイプラインの上市目標

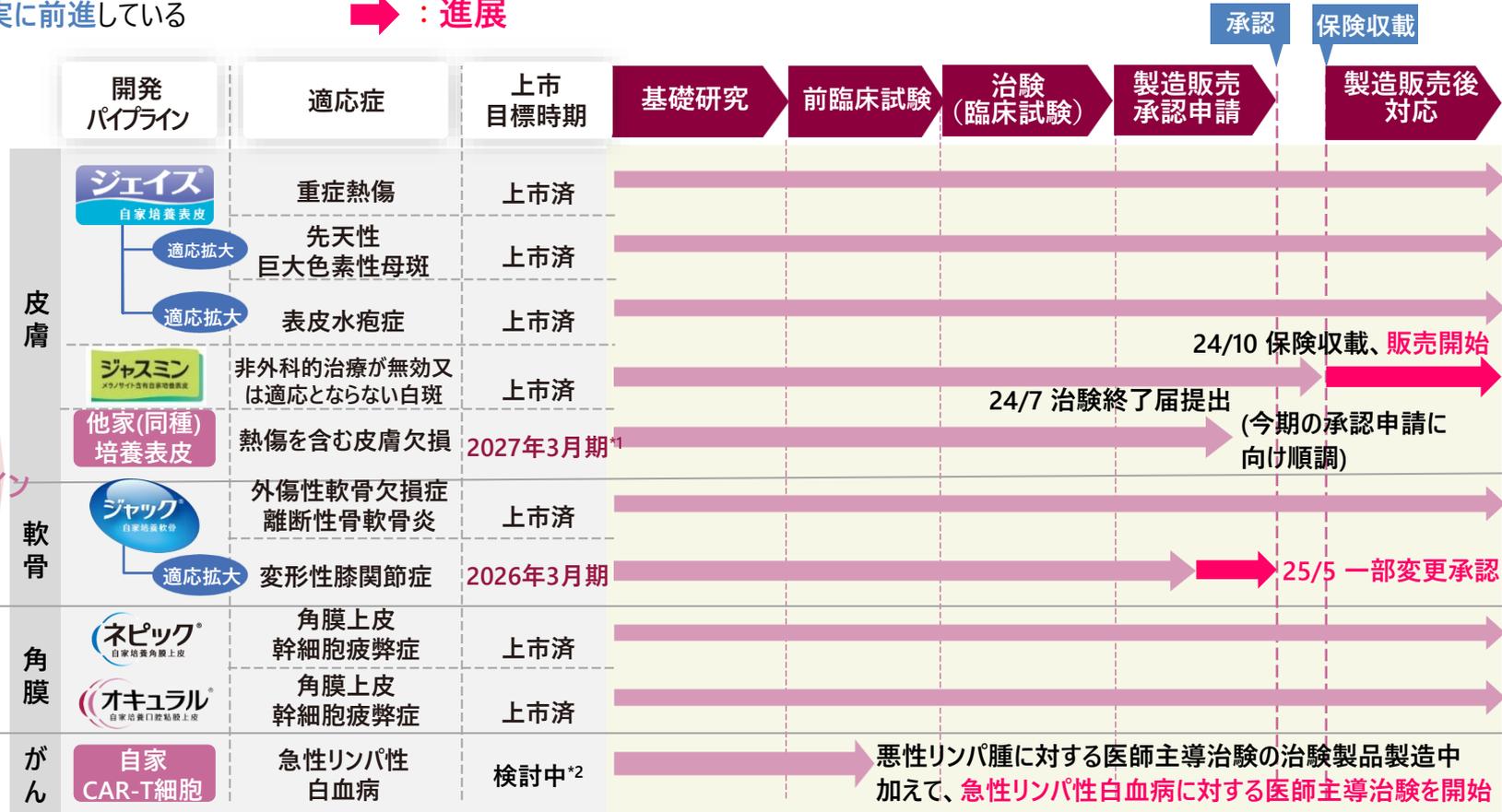
✓ 開発は着実に前進している

➡ : 進展

産学
連携

資本
提携

新規
パイプライン
創出



*1 開発遅延に伴う上市時期見直し

*2 治験を当社主導ではなく医師主導で実施することとなり、全体スケジュールを検討中の為

2. トピックス

再生医療CDMOに関する補助金の採択（経済産業省）

- ✓ 当社・帝人リジエネット株式会社共同で、**経済産業省が実施する「再生CDMO補助金」***に採択
- ✓ 国内外からの再生医療等製品の受託数増加に向け、**施設・設備の拡張や人材育成の仕組み構築**に対して、2027年度までに**両社合計で数十億円規模の投資**を実行
- ✓ 投資額の1/2の補助が受けられるが、補助金の大部分は**2027年3月期以降の設備投資の減額効果となる見込み**であり、**2026年3月期の当社業績に与える影響は軽微**

| | 施設・設備の拡張 | 人材の育成 |
|-------|---|---|
| J-TEC | <ul style="list-style-type: none"> ● 研究施設の一部をGCTP準拠製造施設として改築 ● 製造・品質管理工程へのAI導入による自動化やスキルレス化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業者の属人的な専門性への依存から脱却する高水準な人材育成プログラムの作成 |
| TRG | <ul style="list-style-type: none"> ● 柏の葉ファシリティにおける実験室増設 ● 岩国ファクトリーのCPCと実験室の増設 | <ul style="list-style-type: none"> ● 人材教育に関する場の整備 |

*「令和6年度補正再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備支援事業費補助金」

経済産業省が、同分野の受託製造拠点の整備、自動化装置や品質管理システムの導入に加え、国内で不足している製造人材の育成を支援する事業で、国内の創薬力の強化とともに、受託製造業を輸出産業とすることを目指す。

大阪・関西万博において再生医療に関する展示・体験イベントを開催

- ✓ 大阪・関西万博公式イベント「HEALTH DESIGN 輝き、生きる ～Live Brighter～」において、厚生労働省が、日本の再生・細胞治療・遺伝子治療分野の情報発信を行う企画「新時代の治療法 ～再生医療の最前線～」を実施（2025.6.21-29）
- ✓ 当社は、本ブースでの展示・体験イベントの企画・運営を再委託され、当社の再生医療等製品の実物展示に加えて、一般の方や子供向けの体験イベントを通じて、日本の再生医療に関する情報発信に大きく貢献
- ✓ 本イベントへの来場者に対するアンケートの結果、本ブースは「一番楽しかったアクティビティ」1位を獲得（本イベント主催者調べ）

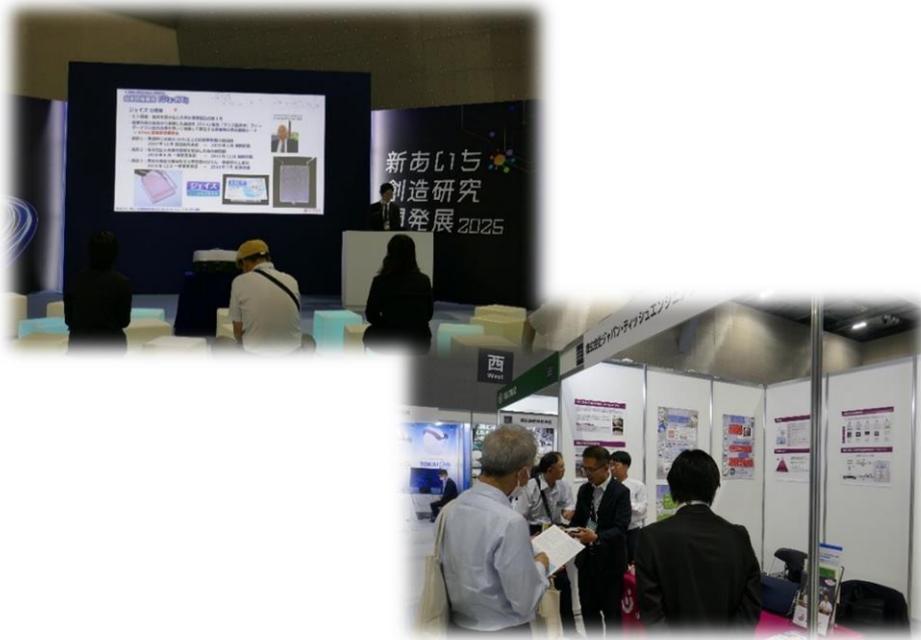


【生まれ！未来の科学者】
アニメーションのキャラクターなど
映像を活用した体験実施中！



各種展示会への参加：新あいち創造研究開発展、再生医療EXPO

- ✓ 新あいち創造研究開発展、再生医療EXPOなど、各種展示会へ参加
- ✓ 製品開発や再生医療受託事業などの複数部署が関与し当社が行っている事業や価値について幅広く対応することで、当社の事業価値を訴求する有用な機会となった



新あいち創造研究開発展2025
2025年6月4日（水）～6日（金）



インターフェックスWeek 東京（再生医療EXPO）
2025年7月9日（水）～11日（金）

3. 参考資料

貸借対照表の概要

| (単位：百万円) (百万円未満切捨て表示) | 2025年3月期 2025年3月31日 | 2026年3月期 2025年6月30日 | 増減額 |
|--------------------------|------------------------|------------------------|-------------|
| 流動資産 | 4,824 | 4,647 | △177 |
| 固定・繰延資産 | 1,688 | 1,646 | △41 |
| 資産合計 | 6,512 | 6,293 | △219 |
| 流動負債 | 637 | 678 | 41 |
| 固定負債 | 50 | 32 | △18 |
| 負債合計 | 687 | 710 | 22 |
| 資本金 | 4,958 | 4,958 | - |
| 資本準備金 | 2,788 | 2,788 | - |
| 利益剰余金 | △1,922 | ▲2,164 | △242 |
| 純資産 | 5,825 | 5,582 | △242 |
| 負債・純資産合計 | 6,512 | 6,293 | △219 |

売上債権の減少等

未払金の増加等

四半期純損益の計上

2026年3月期 第1四半期 トピックス一覧

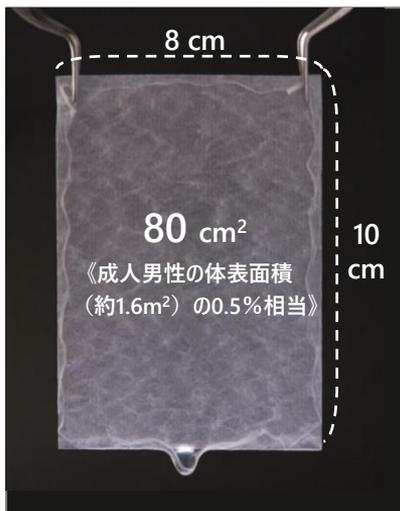
| 2025年 | 内容 |
|-------|--|
| 4月3日 | 再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）の再生医療等製品CDMO企業リストに掲載 |
| 4月15日 | 豊橋技術科学大学との包括的な連携に関する協定締結へ |
| 5月13日 | 自家培養軟骨「ジャック」が変形性膝関節症への一部変更承認取得 |
| 5月20日 | 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ |
| 5月21日 | 一般社団法人Medical Excellence JAPANのニュースレターで紹介されました |
| 5月28日 | 第10回脂肪幹細胞研究会に出展します |
| 6月2日 | 柏の葉「再生医療プラットフォーム」ホームページがOPENしました |
| 6月9日 | 当社社長の再生医療イノベーションフォーラム代表理事会長 就任に関するお知らせ |
| 6月13日 | AXIA EXPO 2025（新あいち創造研究開発展2025）に参加しました |
| 6月17日 | インターフェックスWeek東京（再生医療EXPO）に出展します |
| 6月18日 | 大阪・関西万博において再生医療に関する展示・体験イベントを開催します |
| 7月1日 | 報告セグメントの名称変更に関するお知らせ |
| 7月23日 | 再生医療CDMOに関する補助金の採択と事業基盤の強化 |

当社の再生医療等製品

✓ 当社の再生医療等製品は、**すべて国からの製造販売承認を取得し、保険診療のもとで提供**

| 製品 | 自家培養表皮 | 自家培養軟骨 | 自家培養角膜上皮 | 自家培養口腔粘膜上皮 | メラノサイト含有自家培養表皮 |
|--------------|---|--|--|--|--|
| |  |  |  |  |  |
| | 国内第1号の再生医療等製品 | 日本発の技術による国内第2号の再生医療等製品 | 眼科領域で国内初の再生医療等製品 | 眼科領域で2つ目の再生医療等製品 | 患者さんが多い白斑治療用再生医療等製品 |
| 承認取得 保険収載 | 2007年10月 2009年 1月 | 2012年 7月 2013年 4月 | 2020年 3月 2020年 6月 | 2021年 6月 2021年 12月 | 2023年 3月 2024年 10月 |
| 適応対象 | <ul style="list-style-type: none"> ① 重症熱傷 ② 先天性巨大色素性母斑 ③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症 | <ul style="list-style-type: none"> ① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 ② 変形性膝関節症 | 角膜上皮幹細胞疲弊症 | 角膜上皮幹細胞疲弊症 | 非外科的治療が無効又は適応とならない白斑 |
| 保険 償還価格 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 採取・培養キット 1,000千円* ✓ 調製・移植キット 1,890千円* | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円 | <ul style="list-style-type: none"> ✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚 |
| 技術 導入元 | 米ハーバード大学 Howard Green 教授 | 広島大学 越智 光夫 教授 | 伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授 | 大阪大学 西田 幸二 教授 | 伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授 |

自家培養表皮ジェイス



適応対象

① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用

保険償還 価格

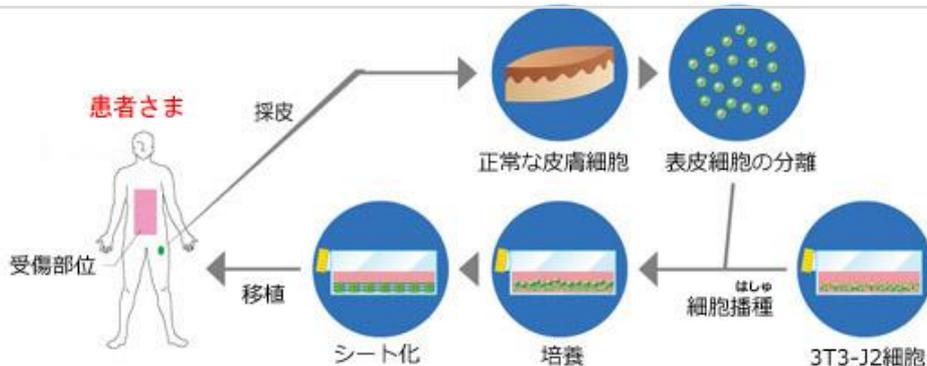
① 採取・培養キット：4,460千円

② 調製・移植キット：154千円/枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授



自家培養軟骨ジャック



適応対象

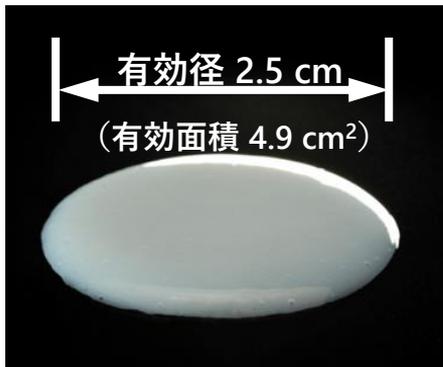
- ① **膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎**の臨床症状の緩和。ただし、他に治療がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る
- ② **変形性膝関節症**に対する臨床症状の緩和。ただし、運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が2cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

保険償還
価格

- ① 採取・培養キット：1,000千円
- ② 調製・移植キット：1,890千円（使用した個数に係らない）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授



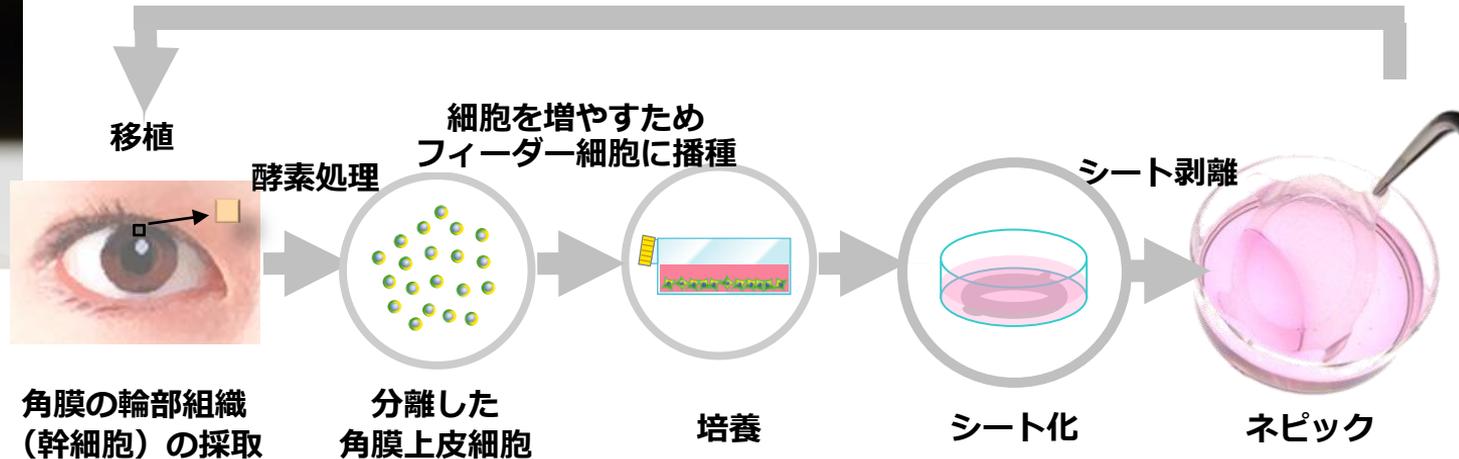
自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



| | |
|---------------------------|---|
| <p>適応対象</p> | <p>角膜上皮幹細胞疲弊症</p> <p>ただし、以下の患者を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステイヴンス・ジョンソン症候群の患者 ・移植物対宿主病の患者 ・再発翼状片の患者 ・眼類天疱瘡の患者 ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者 ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者 |
| <p>保険償還 価格</p> | <p>① 組織運搬セット：4,280千円</p> <p>② 培養角膜上皮パッケージ：5,470千円</p> |
| <p>技術導入元</p> | <p>伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授</p> |



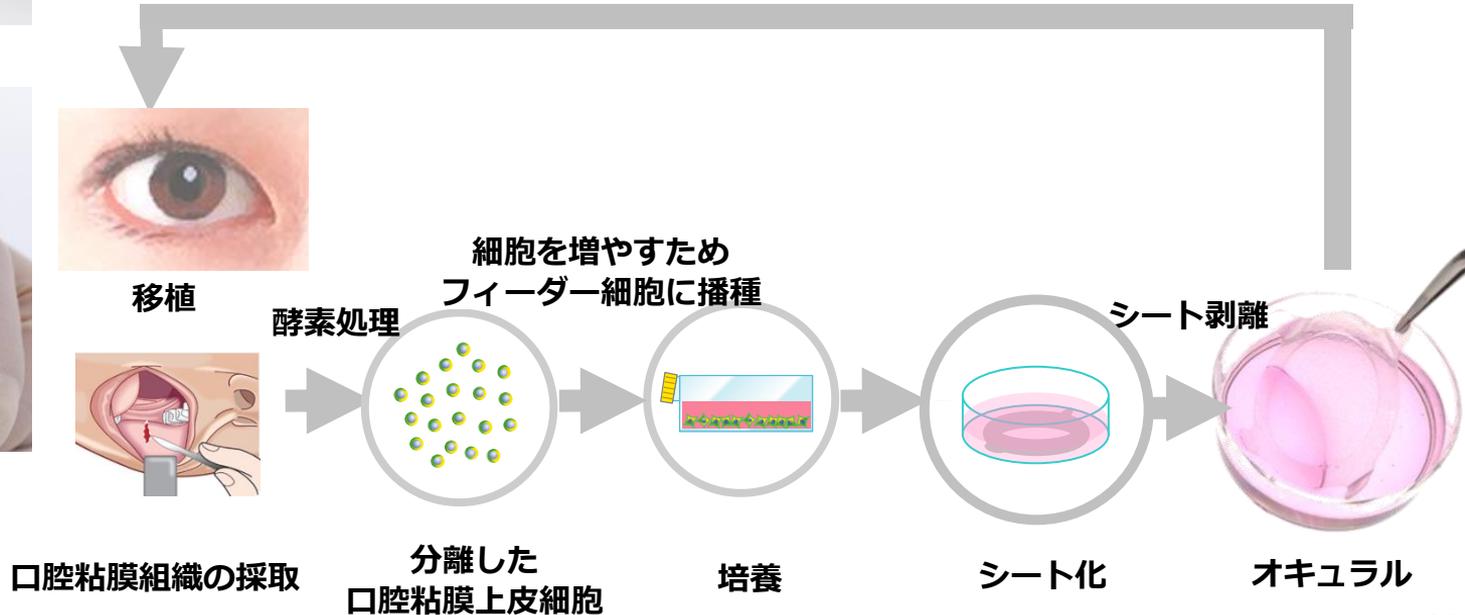
自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック



| | |
|------------|--|
| 適応対象 | 角膜上皮幹細胞疲弊症 |
| 保険償還 価格 | ① 組織運搬セット： 4,280千円 ② 培養角膜上皮パッケージ： 5,470千円 |
| 技術導入元 | 大阪大学 西田 幸二 教授 |



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



適応対象

非外科的治療が無効又は適応とならない白斑

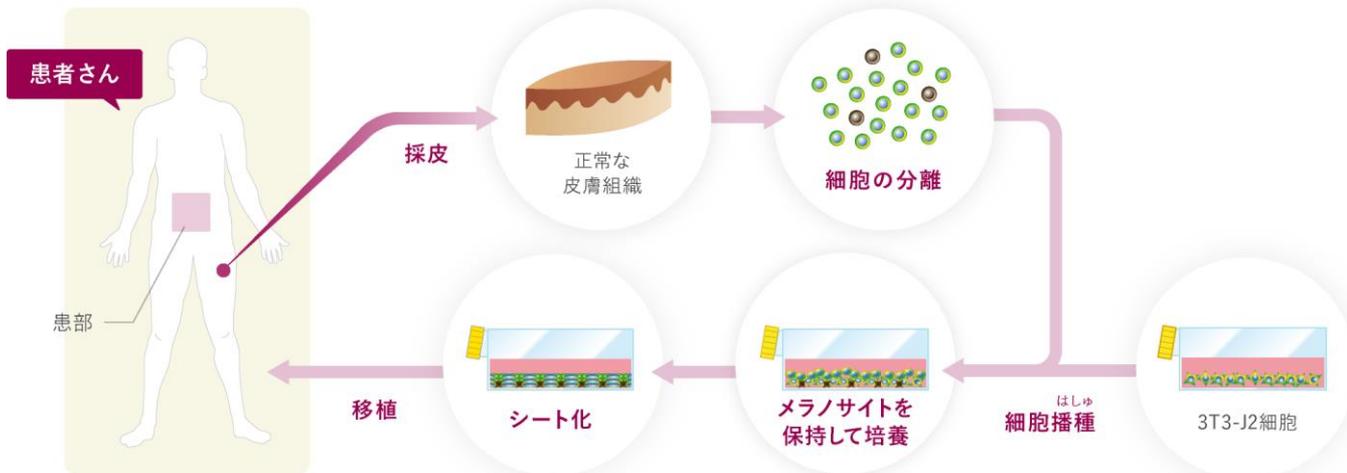
12ヶ月程度症状が固定した尋常性白斑、Vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑

保険償還
価格

- ① 組織運搬セット：4,460千円
- ② 培養表皮パッケージ：154千円/枚

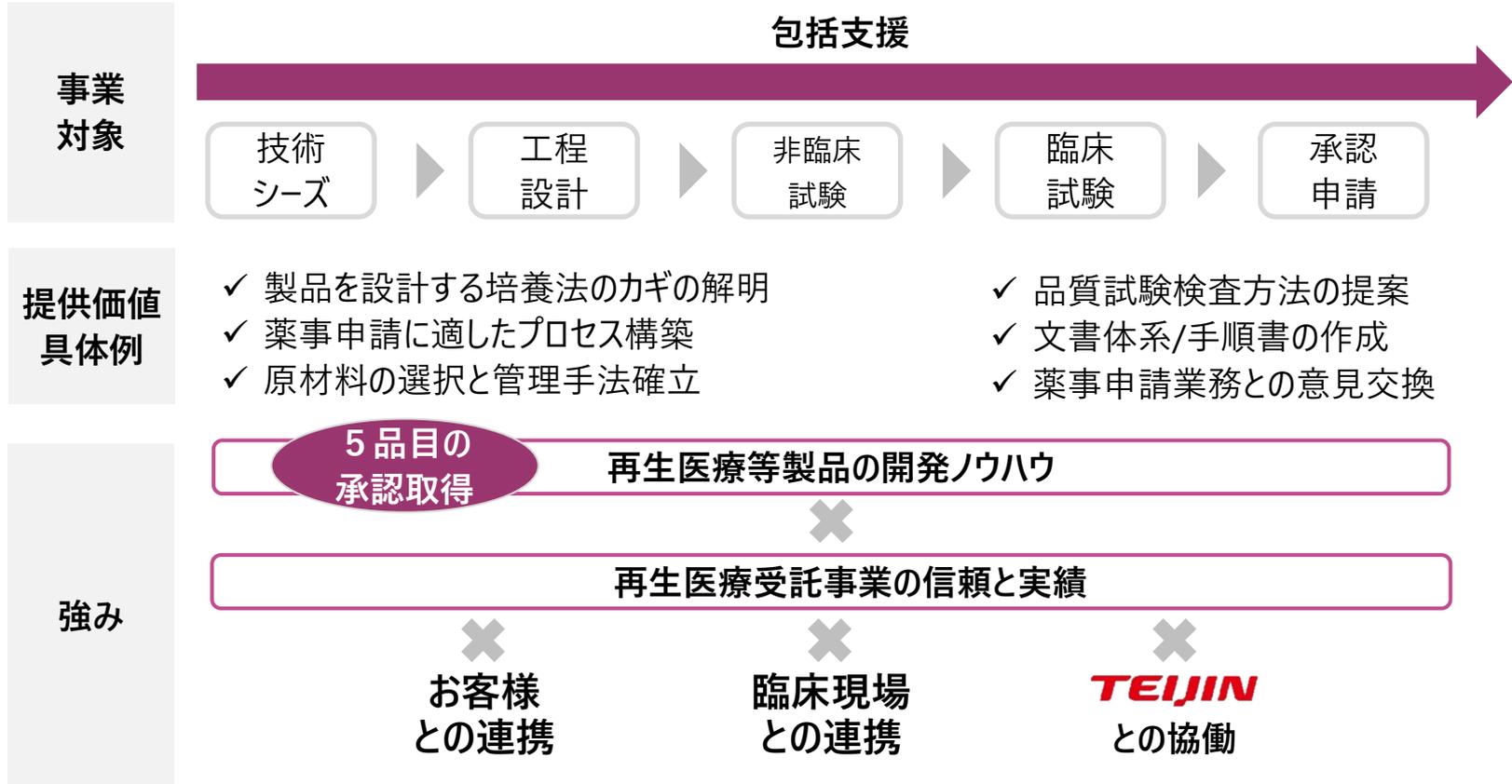
技術導入元

伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授



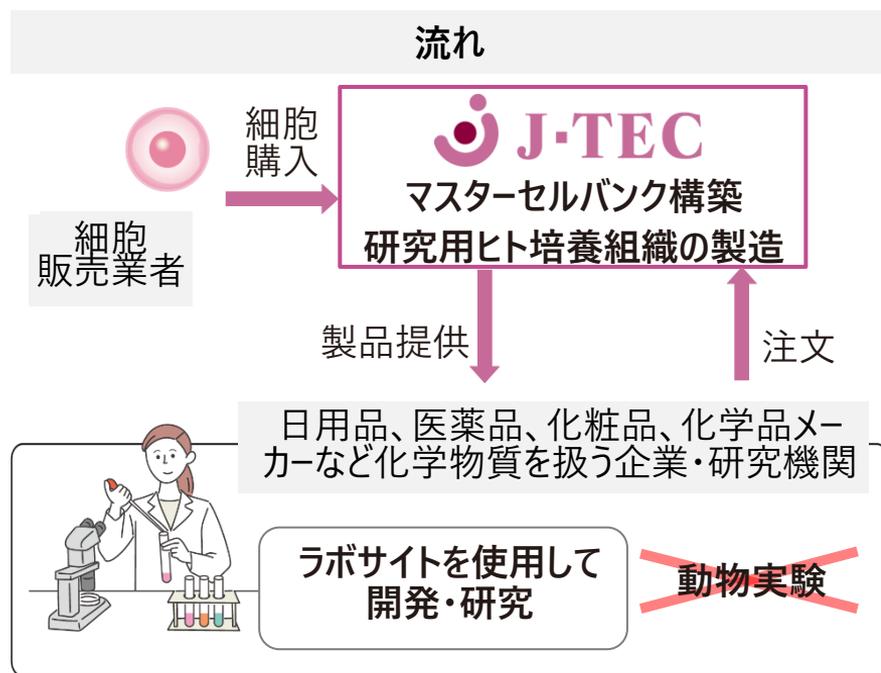
再生医療受託事業のビジネスモデル

✓ これまでのノウハウを生かし、**包括的に支援する**受託サービスを通じ、**産業全体の拡大・発展に寄与**



ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品**の開発、**皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用
- ✓ **世界初の「皮膚感作性試験」のOECDテストガイドライン**記載
- ✓ 動物愛護の観点からの世界的な**動物実験代替**の潮流にも対応



| | ラボサイト エピ・モデル | ラボサイト エピ・キット | ラボサイト 角膜モデル |
|-------------------------|---|------------------|-------------------|
| 製品 | ヒト3次元培養 表皮 | ヒト表皮モデル 作製キット | ヒト3次元培養 角膜上皮 |
| | | | |
| OECD テストガイド ライン記載 | 皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D) | — | 眼刺激性試験 (TG492) |
| 販売開始 | 2005年3月 | 2013年4月 | 2010年7月 |

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp